

## 民間企業(杏林堂ドラッグストア・ローソン) ×生活支援コーディネーター

### 杏林堂の「お届けサービス」

杏林堂ドラッグストア菊川店では、同店で購入した商品を自宅まで配達するサービスを相談に応じて行っています。「徒歩や公共交通機関を利用して来店した人が、購入した重い商品を持ち帰ることができずに困っている」とケアマネジャーを通じて、生活支援コーディネーターに寄せられた相談がきっかけ。コーディネーターから杏林堂に情報を提供し、話し合いを重ね、実現したサービスです。

今では高齢者を中心に月に4人くらいが利用しています。「自分の目で見て買いたい」というニーズに応えつつ、商品を大切に届けています。お客さんの声を聞きながら、より良いサービスを提供し、支援しています。



### ローソンの「移動販売」



3年前にローソン菊川西方店オーナーが生活支援コーディネーターに移動販売の巡回場所を相談し、地域の集まりやサロンの紹介を受け、開始したサービス。現在、市内全域で買い物に困っている人を対象に、介護施設や住宅を巡回しています。

生活支援コーディネーターから市内のケアマネジャーへの情報提供や利用者の口コミで広がり、個人住宅への要望も増加。移動販売が唯一の楽しみで、毎週心待ちにしている人も多くなっています。

生活支援だけでなく、定期的に訪問し、声掛けをする中で高齢者の見守り支援としても活躍しています。

## 社会福祉法人×コミュニティ協議会 ×寺院×生活支援コーディネーター

### 地域と共に作る居場所

平成30年度から市の委託を受けた社会福祉法人白翁会特別養護老人ホーム千寿の園が行っている「またきてカフェin報恩寺」。基本的に2カ月に1回、堀之内市内の報恩寺で開催されています。誰でも気軽に寄れる居場所として65〜90歳の人が多く参加し、紙芝居や音楽に触れ、認知症予防にもつながっています。

### さまざまな主体との連携体制

この活動は同施設が、「地域住民が主役となり、地域と共に作る居場所として開催したい」と生活支援コーディネーターに相談したことがきっかけ。その後、町部地区コミュニティ協議会の福祉部会や報恩寺などにも声を掛け、理解者を増やしながら連携体制を築きました。開催

ごとに毎回打ち合わせを重ねて、意見交換をすることでより良い内容にしています。

この活動の特徴は、本堂で毎回内容が変わる催しがあり、幅広い世代がお茶を飲みながら会話を楽しめる別室も用意され、参加者が過ごしたい場所を自由に選べる点ができます。報恩寺で開催することでお寺独特の雰囲気や座禅体験、法話を聞くことができるのも参加者に人気です。参加者を対象に実施したアンケートから、認知症に関心が高く、不安を抱える人が多いことがわかりました。今後は、ニーズに合わせた内容も取り入れる予定です。

千寿の園の奈良修三理事は、「新しいことを始めることは大変ですが、皆さん熱心に取り組んでくれています。楽しみにしている人がいるので、継続していきたいです」と話してくれました。

## で い暮らし” 取り組み

いことを垣根を越えたことで、新たな取り組みます。両団体にとってなく、地域で困っているつながります。”自分の取り組みを協働にのを紹介します。



社会福祉法人 白翁会  
特別養護老人ホーム  
千寿の園

奈良 修三さん